

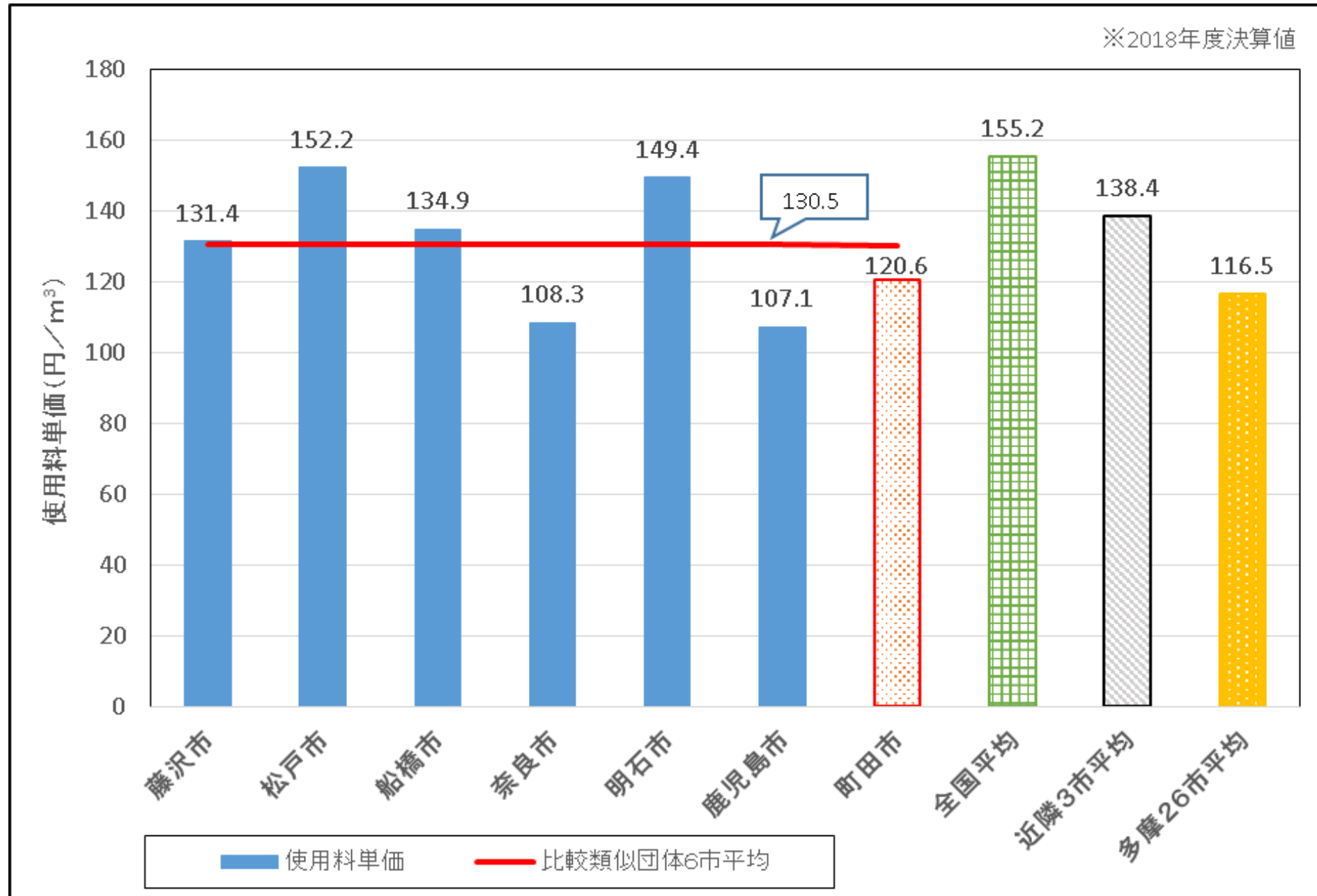
## 第2章 3. 類似団体との比較分析 追加資料

表6 比較類似団体：基本情報

No.	都道府県名	団体名	処理区内人口 人	有収水量 密度 千m <sup>3</sup> /ha	年間有収水量 千m <sup>3</sup>	供用開始 後経過年数 年	管渠総延長 Km	処理場保有数
1	神奈川県	藤沢市	415,534	9.2	43,814	60	1,610	2
2	千葉県	松戸市	426,861	10.5	40,768	59	1,475	1
3		船橋市	558,710	10.9	51,435	58	1,391	2
4	奈良県	奈良市	313,162	7.5	35,142	56	1,159	4
5	兵庫県	明石市	301,625	8.2	31,438	51	1,132	4
6	鹿児島県	鹿児島市	471,800	7.8	55,019	64	2,325	6
	比較類似団体6市平均		414,615	9.0	42,936	58	1,515	3
	東京都	町田市	423,564	8.3	41,255	52	1,650	2
	全国平均		82,574	4.2	88,820	32	362	
	近隣3市平均		1,985,198	11.9	201,510	65	6,038	
	多摩26市平均		159,450	9.6	16,572	45	485	

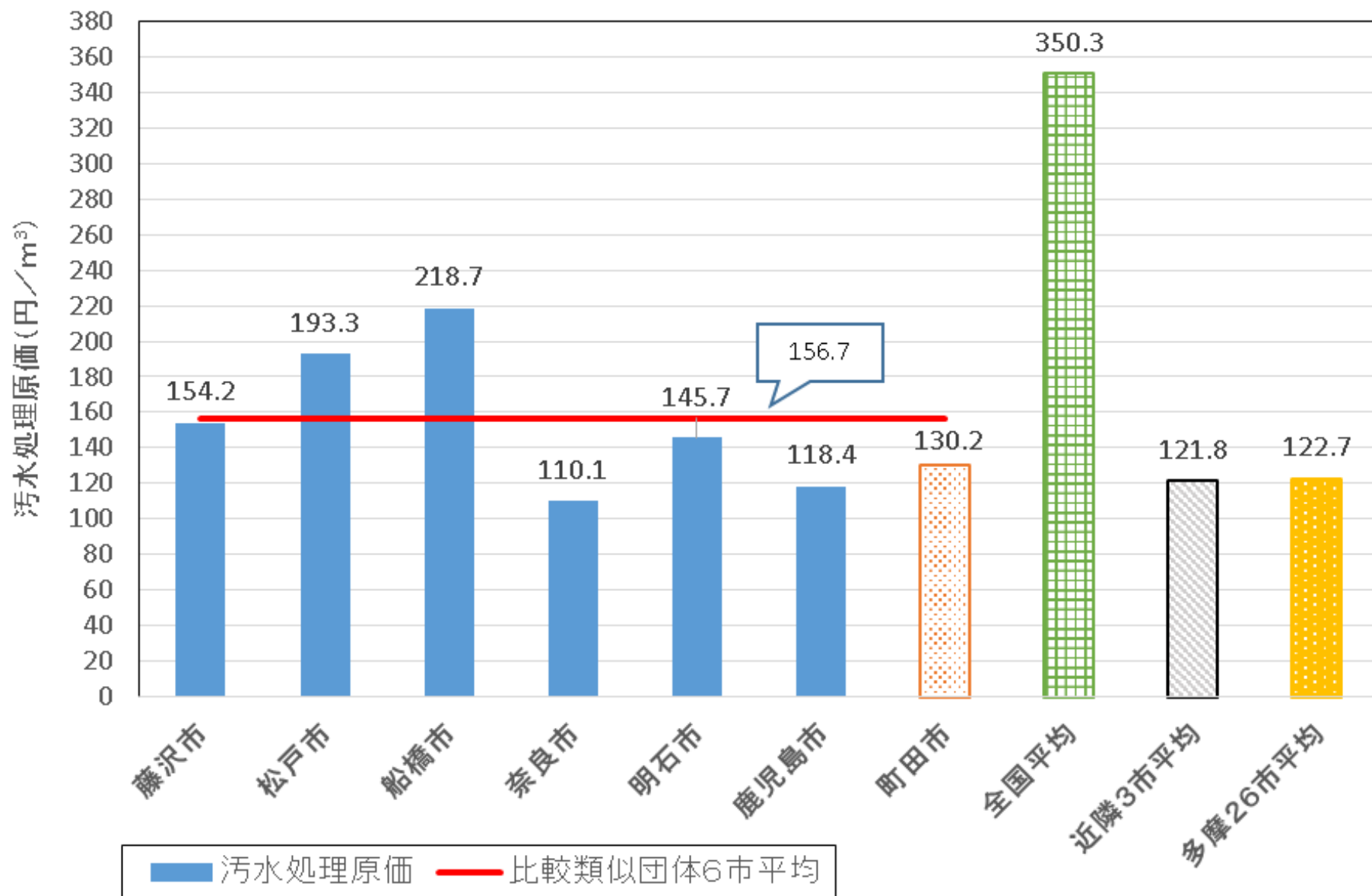
※近隣3市＝川崎市、横浜市、相模原市

※2018年度決算値

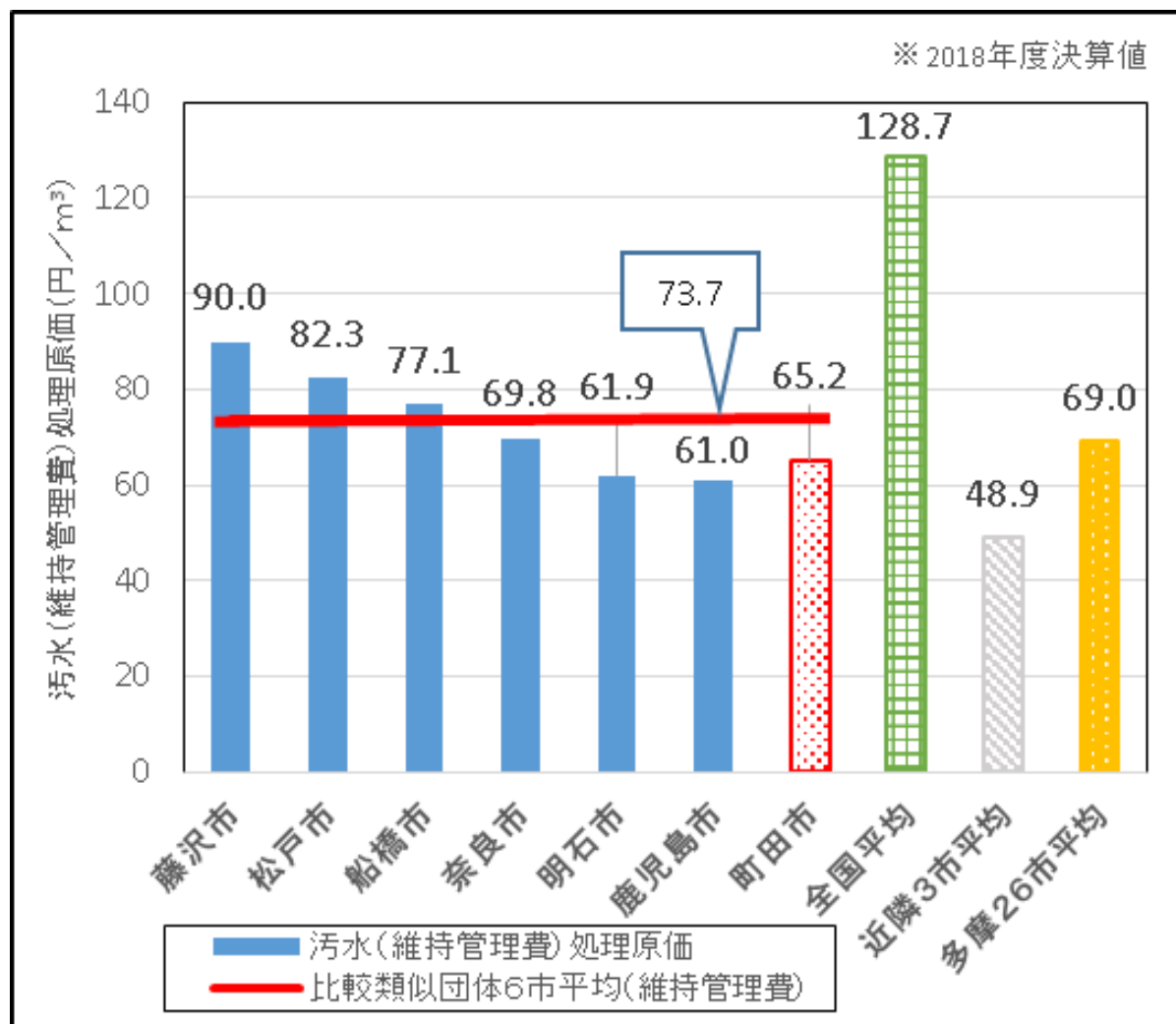


P.18 図16 使用料単価の比較

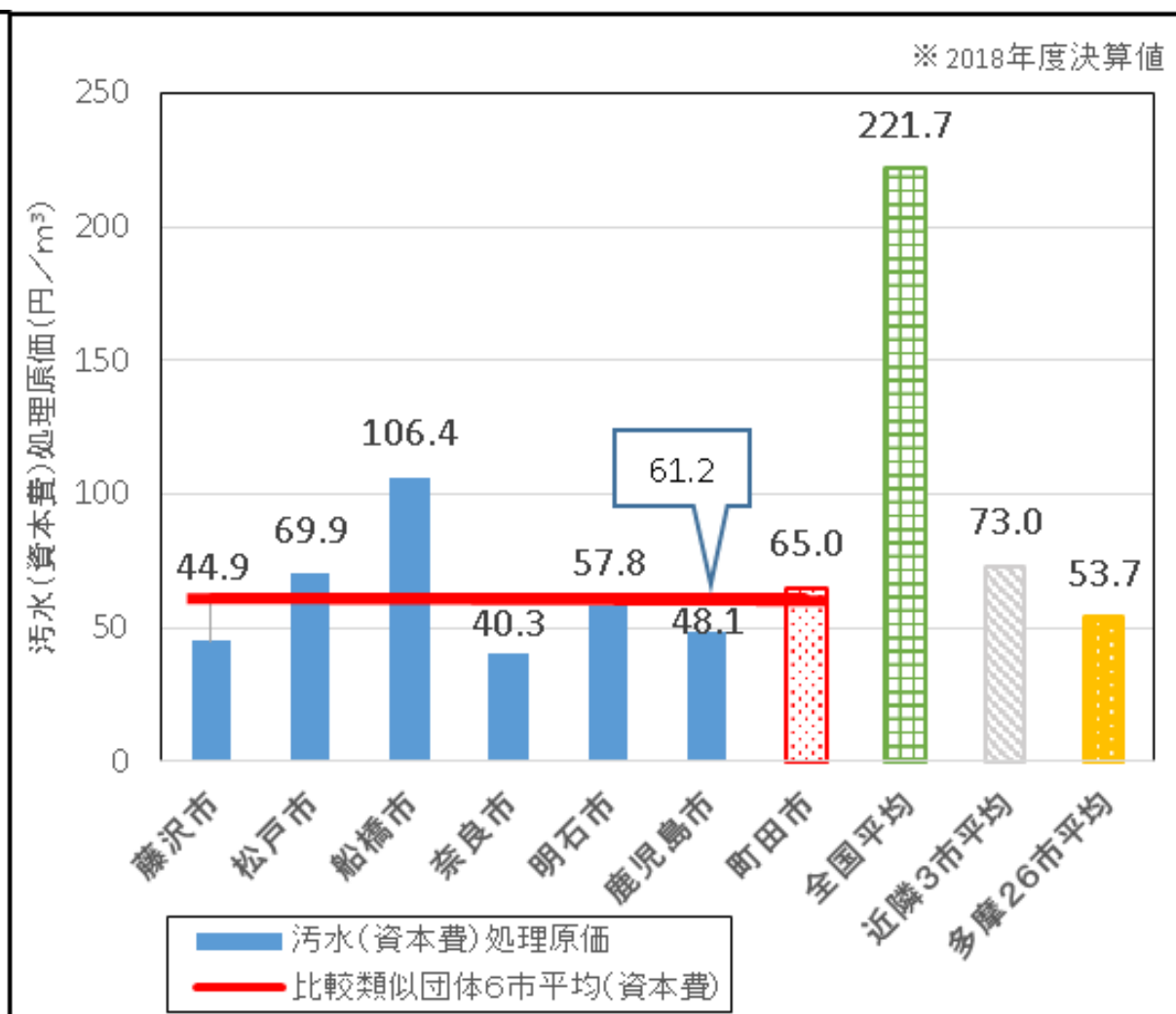
※2018年度決算値



P.18 図17 汚水処理原価の比較

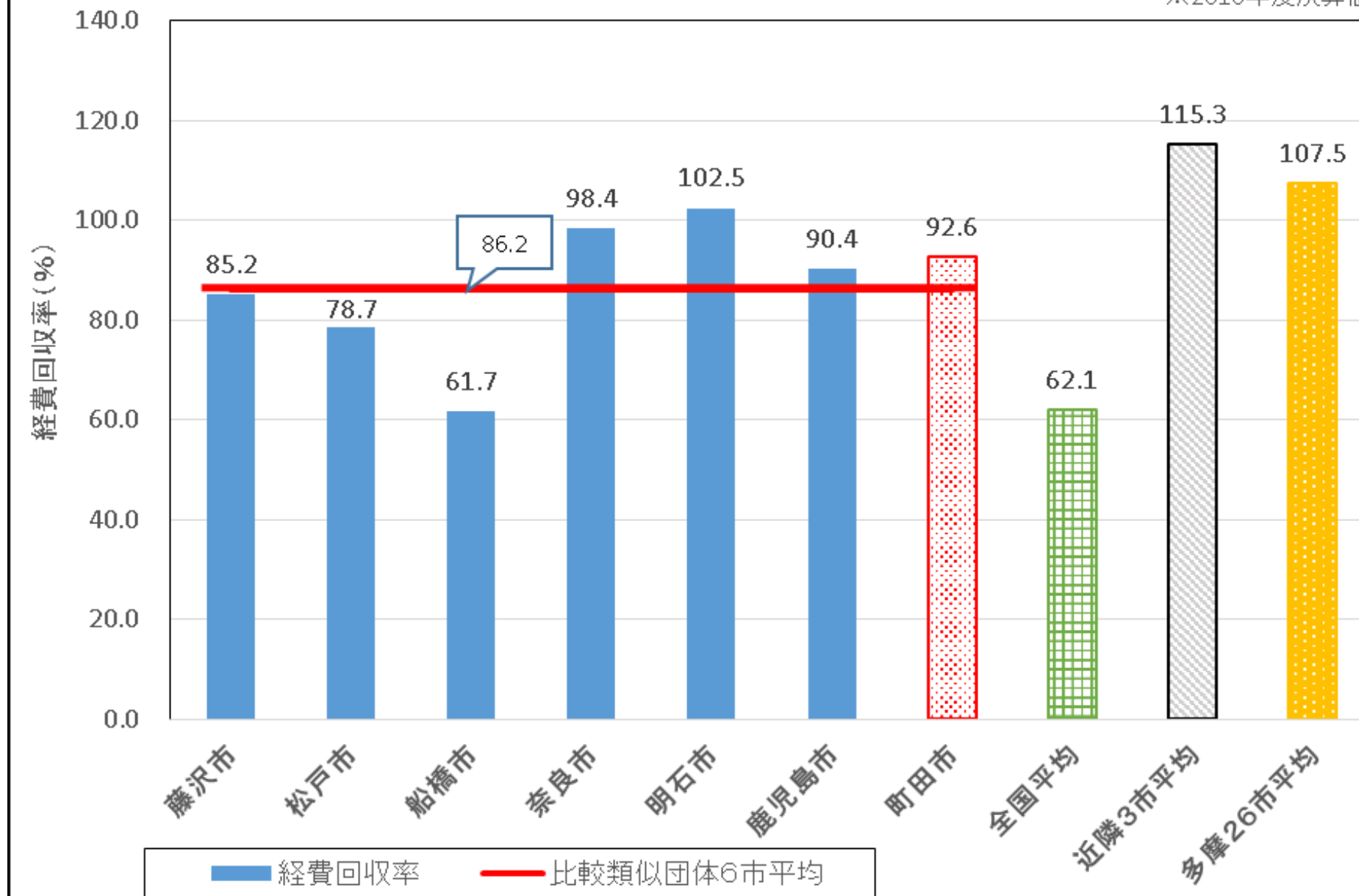


P.19 図18 汚水(維持管理費)処理原価の比較



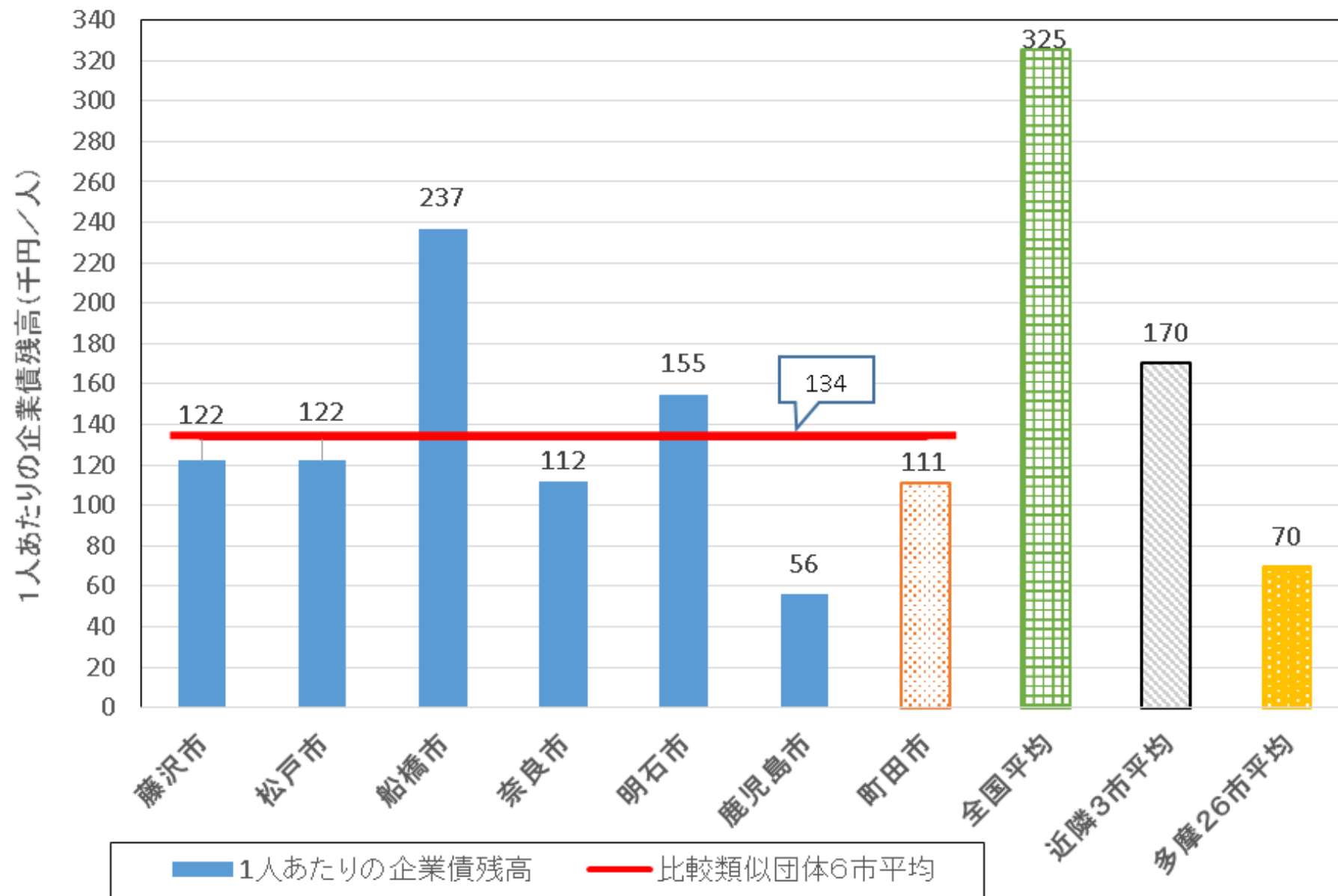
P.19 図19 汚水(資本費)処理原価の比較

※2018年度決算値



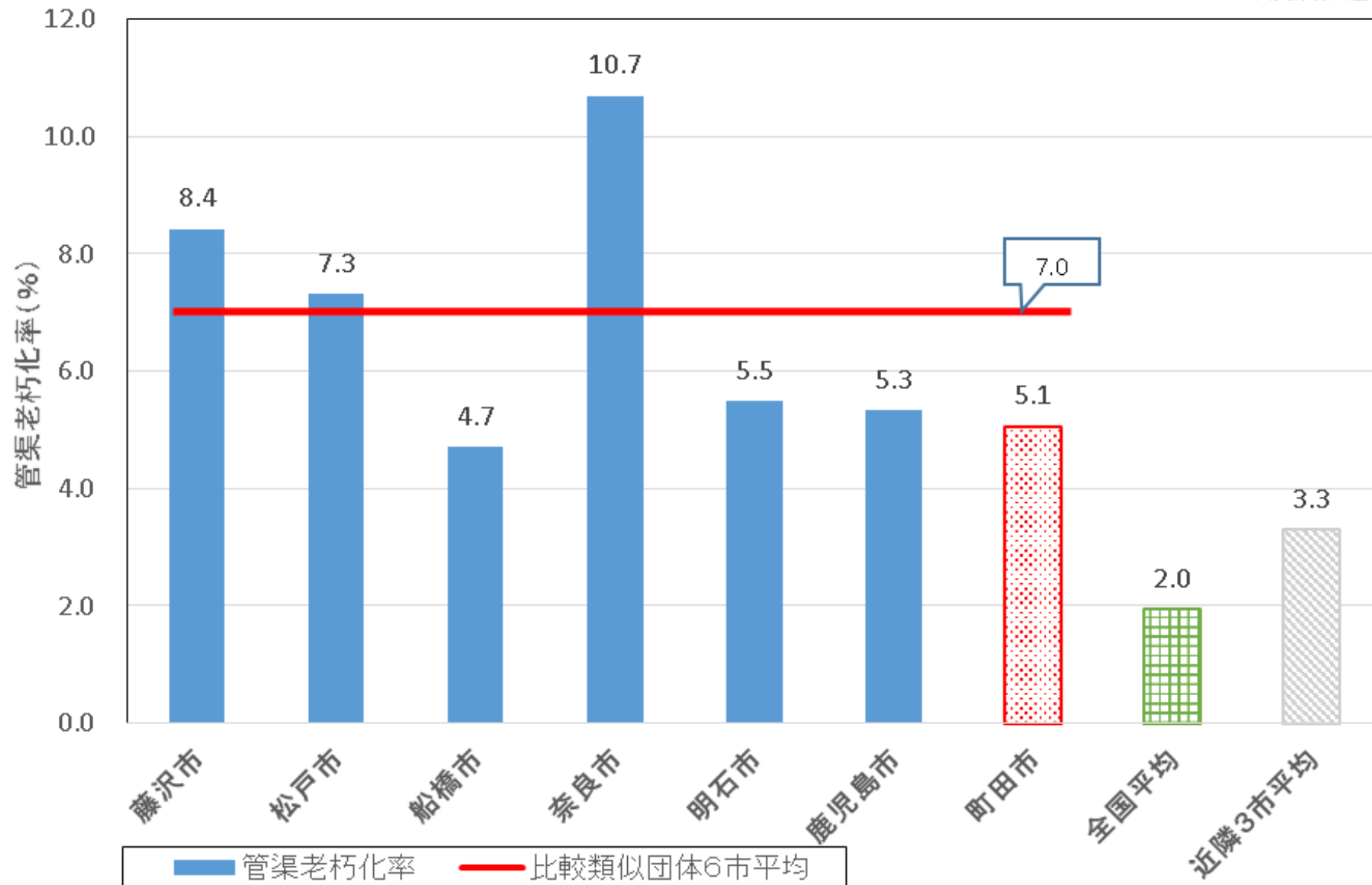
P.19 図20 経費回収率の比較

※2018年度決算値



P.20 図21 処理区域内人口1人あたりの企業債残高の比較

※2018年度決算値



P.20 図22 管渠老朽化率の比較